

平成 27 年 11 月 14 日 - 15 日、長崎市で開催された九州医学会において、Scientific Reports 誌に受理された論文「Disturbance of cardiac gene expression and cardiomyocyte structure predisposes Mecp2-null mice to arrhythmias」が優秀論文賞を授与いたしました。

本研究ではレット症候群における心臓自体の不整脈素因に関して、レット症候群の原因遺伝子 Mecp2 が欠損することで、心臓における心臓の発生や機能維持に必要な遺伝子の発現や刺激伝導に不可欠な心筋細胞間にある微細構造の乱れを世界で初めて明らかにしました。

これは、レット症候群における心臓の脆弱性と特異性を示すもので、今後の臨床において考慮すべき知見と思われます。

本研究に対して研究助成を含め、多大なるご支援を賜りました貴機構に対して、改めて深謝申し上げます。

皆様の日常にすぐにフィードバックするところまでには至っておりませんが、今後もレット症候群への研究を進めていく考えには変わりありません。

私を必要として頂ける方々に囲まれているだけでも、大変有り難い限りです。

今後ともいい関係が築けて行くことができれば、医者冥利に尽きると思えます。

今後とも息の長いお付き合いの程、宜しく申し上げます。



平成 27 年 12 月 1 日
小児科 原

九州小児科医学会にて受賞の様子



毎日新聞九州版に掲載されました。